

「第79回大分県民スポーツ大会」を開催

「第79回大分県民スポーツ大会」が、県南ブロック(佐伯市・臼杵市・津久見市)を主会場に、9月12日(土)から3日間、各会場で44競技が行われました。

武術太極拳競技は、令和8年9月13日(日)に、大分県立佐伯鶴城高校体育館で開催されました。

武術太極拳が県民スポーツ大会の正式競技となって3年目を迎え、出場選手たちは各市の代表として競技に臨みました。前日には、地元の佐伯市武術太極拳連盟の協力により会場設営のほとんどが完了しており、当日は役員、審判団、スタッフが午前8時30分に集合した後、短時間で準備を整える事ができました。

10時からの開会式の後、郡市対抗競技として午前「個人総合太極拳男女」13人・「ペア24式太極拳」8組の演武が行われました。昼食休憩を挟んで午後1時15分から「団体種目」8チームの練習を重ねた演武が繰り広げられました。

総合順位は、1位 別府市で2連覇、2位 由布市、3位 佐伯市、4位 大分市 5位 日田市、6位 臼杵市、7位 竹田市、8位 豊後大野市でした。

参加者は選手、実行委員、審判団、スタッフ、来場者あわせて150人でした。

今年は佐伯市での開催となり、遠方からの参加者も多かったが、佐伯市武術太極拳連盟の積極的な取り組みと、会場となった大分県立佐伯鶴城高校の協力により、準備や後片付けの時間を大幅に短縮することができました。会場には冷房設備が整っており、あらかじめ準備していた救護所や救護用品を使用することもなく、円滑に運営することができました。

講評で千鳥安雄理事長は、選手宣誓した選手が出場種目で優勝し、太極拳に取り組む姿勢が結果につながったこと、また全体を通して日頃の鍛錬の成果が表れていたことを述べられました。

健康で楽しく太極拳を続けながら、心身を鍛える喜びが感じられる大会となりました。

(NPO法人大分県武術太極拳連盟)



総合順位1位 別府市 安部 正勝 氏(左)と千鳥 安雄 理事長(右)



団体種目演武 1位 佐伯市